

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2025年12月20日

事業所名：児童発達支援 こぼんはうすさくら豊橋中浜教室

対象人数(保護者)10人 回答者数 10人 回収 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9		1			その日の活動に合わせ、3つの支援室を活用し、スペースも十分に確保しております。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		1		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1				
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	5		午前中は小集団の療育を大切にしております。午後は放デイのお子様と交流する機会を設けています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	2	4		今後、家族等参加できるイベントの実施についてアンケートを取り、保護者様の意見を確認していこうと思います。
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	4	3		就労されているご家族が多いため、父母の会の活動の予定は、今現在は見送らせて頂いております。
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			1		
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9			1		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9			1		
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1		1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1				
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	1	1		午後の療育時間に各種訓練を実施しています。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表日 2025年 12月20日

こばんはうすさくら豊橋中浜教室

従業者数 9名 回収率 9件（100%）

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		机，椅子ともに児発の子どもたちに適したものとなり良いと感じられる。 二つ部屋があるので、勉強部屋と遊ぶ部屋と分かれていて良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		ルーティンや、スケジュールなど視覚的に分かりやすくしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	長期休みは児発、放デイと1F、2Fで分けて支援しています。その日の子どもに合わせ支援している
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	クールダウンできる部屋や周りの音が気になる子勉強できる部屋があります。 机上での活動と自由遊びの活動とを分けて支援している
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月に一回の会議や定期的に支援会議をなどで話し合う場を設けている。 定期的にオーナーとの面談の時間を設けている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	本部から年に数回事業所へ来てもらい、支援の様子を見てもらったり、わからないことを質問する時間も設けている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部研修、内部研修に参加している。 施設内外の研修に全員が参加できるよう配慮している
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		職員みんなで相談していてとてもよい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		半年に1度、個別支援計画更新時には個別面談を開催。保護者からのニーズを聴きながら作成している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		職員が参加したケース会議、支援会議を開催し支援の計画を検討している

支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	難しいと感じられた時は、終礼で話し合い、次の支援の方法を考えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		皆で話し合いをしっかりとっている その月のリーダーを決めて、リーダーが中心となって活動プログラムを作成する。毎月、の支援内容を職員間で検討している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		内容を子どもたちの様子で変えている。 目的別にまとめたり、児童人数や特性に合わせている 新たなプログラムを考えて組み込んでいる。 子どもたちの発達にそったプログラムを考慮し改善している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		歌、個別課題、体操、粗大遊びを必ず取り入れて療育している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼、昼礼をし、午後から来る職員にもその日の流れを伝えている。 毎日、朝礼で一日の流れ役割分担を話し合っている。また昼礼では午後から出勤の職員にも周知している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		忙しい日でも必ず終礼をし、少しの時間でもその日の様子を伝え合う場を設けている。その日の事はその日のうちに処理していく。 支援後にはタ礼をし、その日の支援での出来事や子供たちの様子を共通認識している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一回、モニタリングを職員間でしている
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	参加者がその後、会議の内容を伝えて周知している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		必要に応じて、関係機関と連携会議を開催している
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	必要に応じて連携会議をし、学校と情報共有する機会を設けている

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答)	1		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	7	2	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		新規契約時に詳しく説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		面談を行い、その都度、保護者または本人のニーズを確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	就労されているご家族が多いため父母会の活動などの予定は、現在は見送らせて頂いております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		利用前の面談で健康に関する情報を確認している
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		現在気をつけるほどの食物アレルギーの子はいない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		その場その場で話をして共有したり、その日いない職員もいるため、月一回の会議で周知している。 毎月の全体会議でヒヤリハットを報告し再発防止に努めている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		事例があった場合は全員でどうすれば良かったのかを話せるようにしていきたい